

暖か	あたたかや習ひたてなるあいうえお	2023. 9. 12	花筏	発泡スチロールの欠片花筏	2023. 8. 27
	あたたかや子が並べゆくあいうえお			発泡スチロールを運ぶ花筏	
	あたたかや覚えたてなるあいうえお			発泡スチロールを包む花筏	2023. 8. 31
	あたたかやまだ書けねどもあいうえお			発泡スチロールと共に花筏	
	あたたかや声を大きくあいうえお			発泡スチロールを入れて花筏	
	あたたかや大きな声であいうえお	2023. 9. 13		発泡スチロールも入れて花筏	2023. 9. 1
	あたたかや口を大きくあいうえお	2023. 9. 14		発泡スチロールも浮かべ花筏	2023. 9. 6
	あたたかや大きな声のあいうえお			発泡スチロールも連れて花筏	
花の雨	花の雨レントゲン車に社員消ゆ	2023. 9. 4		発泡スチロールも乗せて花筏	
風船	風船に連れ去られたる長き紐	2023. 9. 8		発泡スチロールを囲み花筏	
	逃げてゆく風船を追ふ長き紐			花筏発泡スチロールと共に	
種子袋	ふりかけと同じサイズの種子袋	2023. 9. 8		発泡スチロールの白き花筏	
	ふりかけと同じ大きさ種子袋			発泡スチロールも混じる花筏	
猫の子	スリッパと仔猫いくさ最中に詠みしてふ	2023. 9. 10		発泡スチロールの目立つ花筏	
	仔猫の句詠みたる虚子の戦時かな			発泡スチロールも見ゆる花筏	
	戦時下の虚子が詠みたる仔猫の句	2023. 9. 11			
	戦時下に虚子の詠みたる仔猫の句			発泡スチロール混入花筏	2023. 9. 7
	戦時下の虚子の作りし仔猫の句	2023. 9. 12			
シクラメン	エレベーターで我家へ戻るシクラメン	2023. 9. 9			
	エレベーターで我家へ帰るシクラメン				
	エレベーターで我家へ上るシクラメン	2023. 9. 10			
椿	玉椿太き花粉の柱かな	2023. 6. 20			
	ずんぐりと花粉の柱玉椿				
	ずんぐりと花粉柱や玉椿				
	太々と花粉柱や玉椿				
	白と黄の花粉柱や玉椿	2023. 8. 31			
	白と黄の雄薬を太く玉椿	2023. 9. 5			
	白と黄の雄蕊を太く玉椿				
	白と黄の蕊を太々玉椿				
	白と黄の蕊の貫禄玉椿				
	白と黄の蕊を柱に玉椿				
	白と黄の太き柱を玉椿				
	白と黄の太き柱の玉椿	2023. 9. 12			
	白と黄の太き柱も玉椿				

夏	チャーハンを宙に舞はせて夏旺ん チャーハンを鍋に舞はせて夏楽し チャーハンを宙に舞はせて夏楽し	2023. 7. 16	さくら んぼ	んぼと言ふ赤んぼ、田んぼ、つくしんぼ んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ	2023. 8. 27 2023. 9. 3
雲の峰	推敲を重ね重ねし雲の峰 推敲の山となりたる雲の峰 推敲を幾つ重ねし雲の峰 重ねたる荒き推敲雲の峰 重ねゆく若き推敲雲の峰 荒々と推敲重ね雲の峰 若書きを重ね重ねし雲の峰 推敲を倦まず弛まず雲の峰 荒々と推敲の果て雲の峰 推敲は倦まず弛まず雲の峰 若書きを十重に二十重に雲の峰 若書きの句屑重ねて雲の峰 若書きの句屑丸めて雲の峰 推敲の果ての巨大な雲の峰	2023. 9. 2 2023. 9. 6 2023. 9. 7		んぼんぼと田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ	2023. 9. 13
海の家	雨の日の特に寂しき海の家 雨の日の寂しきものに海の家 雨の日の海は寂しや海の家 雨の日の海を見てゐる海の家	2023. 9. 3 2023. 9. 5			
曝書	曝書する縁側にその老人も	2023. 9. 9			
浮輪	海見えぬ浮輪の空気悲しけれ 張り詰めし浮輪の空気海見えぬ 閉ち籠る浮輪の空気海を見ず 閉ち込めし浮輪の空気海見えず 閉ち込めし浮輪の空気海を見ず 閉ち込めし浮輪の空気海を見せず 海に浮く浮輪の中の空気かな 海に浮く浮輪の中の空気圧	2023. 6. 26 2023. 8. 30 2023. 8. 31 2023. 9. 2			
ががん	濁点の多きがの字よががんぼよ	2023. 9. 10			
蝸牛	蝸牛巻いて一物仕立かな 蝸牛くるり一物仕立かな 蝸牛をくるり一物仕立かな まいまいをくるり一物仕立かな	2023. 8. 23 2023. 9. 6			
蟬生る	蟬の穴雨水を貯め乾かざる	2023. 9. 14			

秋の暮	たくさんの夕食のある秋の暮	2023. 9. 6	雪	降る雪に雪町書店はや閉まる	2023. 9. 9
秋晴	ピッピッピーンと寒晴の時報	2023. 9. 9		降る雪に雪町書店早仕舞	
	プップップーンと寒晴の時報			降る雪に雪町書店灯りをる	2023. 9. 13
	プップップーンと時報寒の晴			降る雪に雪町書店灯りけり	
	プップップーン秋晴限りなし	2023. 9. 10		降る雪に雪町書店灯を点す	2023. 9. 14
流れ星	流星を迎へ撃つべく富士の山	2023. 8. 23	冬籠	いざとなれば焚くべき書あり冬籠	2023. 9. 10
菊日和	駅弁をデパートで買ふ菊日和	2023. 9. 12	近松忌	住職がこんな処に近松忌	2023. 7. 30
	駅弁がデパートにある菊日和	2023. 9. 13		その人は他人の空似近松忌	
	デパートの駅弁祭り菊日和			これはこれは他人の空似近松忌	
種採	朝顔の種採ることも五十年	2023. 9. 9		住職とぼつたり会へり近松忌	2023. 9. 12
	朝顔の種も採つたり五十年	2023. 9. 11		御僧とぼつたり会へり近松忌	
	朝顔の種も採つたり半世紀			住職とこんな処で近松忌	
	朝顔の種採る人の半世紀			我もまた他人の空似近松忌	2023. 9. 13
	我もまた誰かの空似近松忌				
蜻蛉	蜻蛉の交みて飛べる日本晴	2023. 8. 30			
	蜻蛉の交みて飛べる秋津島	2023. 9. 2			
馬追	虫偏に非ざる虫もすいつちよん	2023. 8. 23			
毒茸	次の世は赤を極めし毒菌	2023. 9. 5			
朝顔	朝顔のシュッと抜き出し白き筒	2023. 9. 10			
	朝顔のシュッと抜き出る白い筒				
	シュッとして朝顔の筒白きかな				
	シュッとして紺朝顔の白き筒				
	朝顔のシュッと色なき部分かな				
	朝顔のシュッと色なき一部分				
	朝顔のシュッと色なきその部分	2023. 9. 11			
	朝顔のシュッと色なき柱あり				
	朝顔のシュッと色なき柱かな				
	朝顔のシュッと色なき円柱部				
朝顔のシュッと色なき基礎部分					
朝顔にシュッと色なき部分あり					
	朝顔のシュッと色なき部分かな				
毒茸	次の世は赤を極めし毒茸	2023. 9. 2			

書初 | 書初のふじのふの字のむづかしき | 2023. 9. 12

書初のふじのふの字のむづかしき